

お知らせ

「アジア地域臨床獣医師等総合研修事業 研修生の研修報告書等」の掲載開始

本誌第71巻第5号で紹介したとおり、日本中央競馬会特別振興資金助成により1年間の準備期間を経て、平成29度4月より実施したアジア地域臨床獣医師等総合研修事業については、第1期研修生12名（モンゴル、中国、韓国、台湾、フィリピン、インドネシア、タイ、マレーシア、スリランカ、アフガニスタン、ベトナム、ネパールより各1名を採用）が全国獣医学系大学（北海道大学、帯広畜産大学、岩手大学、東京大学、東京農工大学、山口大学、宮崎大学、鹿児島大

学、大阪府立大学、酪農学園大学、麻布大学、日本大学）において、家畜の越境性感染症等に関する1年間の研修を無事終了したところである。

なお、本研修では、研修終了後、研修生から報告書が提出されるが、この報告書等を研修生の実績として本誌へ掲載することにより本会の取組みを国内外に周知することとした。

については、次号以降順次、研修生の研究報告を本誌で紹介する予定であるのでご期待いただきたい。